

カンヌ映画祭より歴史ある、国内で最も権威と実績ある映画賞

## 第78回毎日映画コンクール

MAINICHI  
FILM AWARDS

### 第78回毎日映画コンクールにて

**「せかいのおきく」が日本映画大賞他、最多3冠達成！**

**「ほかげ」が日本映画優秀賞を受賞！**

**男優主演賞に鈴木亮平「エゴイスト」**

**女優主演賞に杉咲花「市子」が受賞！**



国内で最も権威と実績、歴史のある映画賞「第78回毎日映画コンクール」の受賞作品と受賞者が決定した。日本映画大賞に輝いたのは、阪本順治監督の「せかいのおきく」。日本映画優秀賞は「ほかげ」（塚本晋也監督）が受賞。男優主演賞は、鈴木亮平「エゴイスト」、女優主演賞は、杉咲花「市子」が受賞する。

男優助演賞には「エゴイスト」の宮沢氷魚が受賞、女優助演賞には「キリエのうた」の広瀬すずが受賞。また、スポニチグランプリ新人賞は「さよなら ほやマン」のアフロ、「BAD LANDS バッド・ランズ」のサリ ngROCK に贈られる。田中絹代賞は薬師丸ひろ子が受賞となる。

監督賞は「月」の石井裕也、脚本賞は「せかいのおきく」の阪本順治、撮影賞は「月」の鎌苅洋一、美術賞は「ゴジラ-1.0」の上條安里、音楽賞は「658km、陽子の旅」のジム・オルーク、録音賞は「せかいのおきく」の志満順一が受賞。

アニメーション映画賞は「アリスとテレスのまぼろし工場」（岡田麿里監督）、大藤信郎賞は「君たちはどう生きるか」（宮崎駿監督）、ドキュメンタリー映画賞は「『生きる』大川小学校 津波裁判を闘った人たち」（寺田和弘監督）がそれぞれ受賞する。

外国映画ベストワン賞は「TAR/ター」（トッド・フィールド監督）が選ばれ、さらに特別賞は、鈴木敏夫（プロデューサー）に決まった。

「せかいのおきく」が日本映画大賞、脚本賞、録音賞を受賞して最多3冠を獲得した。

映画ファンが選ぶTSUTAYA DISCAS映画ファン賞・日本映画部門は、「劇場版 美しい彼～eternal～」（酒井麻衣監督）、外国映画部門は「エプリシング・エプリウェア・オール・アット・ワンス」（ダニエル・クワン、ダニエル・シャイナート監督）が受賞する。なお、表彰式は、めぐろパーシモンホールで2月14日に開催が予定されている。



日本映画大賞  
「せかいのおきく」



日本映画優秀賞  
「ほかげ」

■「せかいのおきく」 ©2023 FANTASIA

■「ほかげ」 ©2023 SHINYA TSUKAMOTO/KAIJYU THEATER

## 第78回毎日映画コンクール 受賞結果

日本映画大賞：「せかいのおきく」（阪本順治監督）

日本映画優秀賞：「ほかげ」（塚本晋也監督）

外国映画ベストワン賞：「TAR/ター」（トッド・フィールド監督）

男優主演賞：鈴木亮平「エゴイスト」

女優主演賞：杉咲花「市子」

男優助演賞：宮沢氷魚「エゴイスト」

女優助演賞：広瀬すず「キリエのうた」

スポニチグランプリ新人賞（男性）：アフロ「さよなら ほやマン」

スポニチグランプリ新人賞（女性）：サリ ngROCK「BAD LANDS バッド・ランズ」

監督賞：石井裕也「月」

脚本賞：阪本順治「せかいのおきく」

撮影賞：鎌苅洋一「月」

美術賞：上條安里「ゴジラ-1.0」

音楽賞：ジム・オルーク「658km、陽子の旅」

録音賞：志満順一「せかいのおきく」

アニメーション映画賞：「アリスとテレスのまぼろし工場」（岡田麿里監督）

大藤信郎賞：「君たちはどう生きるか」（宮崎駿監督）

ドキュメンタリー映画賞：「『生きる』大川小学校 津波裁判を闘った人たち」（寺田和弘監督）

TSUTAYA DISCAS 映画ファン賞・日本映画部門：「劇場版 美しい彼～eternal～」

TSUTAYA DISCAS 映画ファン賞・外国映画部門：「エブリシング・エブリウェア・オール・アット・ワンス」

田中絹代賞：薬師丸ひろ子

特別賞：鈴木敏夫（スタジオジブリ プロデューサー）

（敬称略）



## 毎日映画コンクール概要

毎日映画コンクールは 1946 年（昭和 21 年）、日本の映画産業の振興に寄与し、国民に映画の楽しさを広く伝えることを目的に、毎日新聞社とスポーツニッポン新聞社によって創設された国内最高峰の映画賞です。演技、作品はもちろん、撮影や美術、録音などのスタッフ、日本映画を代表する名女優田中絹代の名を冠する賞など、幅広い部門を設けていることが特徴です。

各賞は、第一線で活躍中の映画評論家やジャーナリスト、専門家など約 70 人が選考にかかわり、毎日映画コンクールはその歴史と伝統とともに、選考の厳正公明さによっても映画業界から高い評価を得ています。

第 75 回から表彰式の開催地は都内へと戻り、目黒区の協力を得て「めぐろパーシモンホール」での開催を予定しています。今後も、一般にも開かれた映画賞として毎日映画コンクールは成長を続けていきます。

## 第 78 回毎日映画コンクール

### <対象作品>

2023 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに国内で 14 日間以上、有料で劇場公開された作品。  
なお、アニメーションおよびドキュメンタリー部門は、同期間に完成もしくは上映された作品が対象。

### <表彰>

- ▽作品部門 = 日本映画大賞 日本映画優秀賞 外国映画ベストワン賞
- ▽俳優部門 = 男優主演賞 女優主演賞 男優助演賞 女優助演賞 スポニチグランプリ新人賞
- ▽スタッフ部門 = 監督賞 脚本賞 撮影賞 美術賞 音楽賞 録音賞
- ▽ドキュメンタリー部門 = ドキュメンタリー映画賞
- ▽アニメーション部門 = アニメーション映画賞 大藤信郎賞
- ▽TSUTAYA DISCAS 映画ファン賞 ▽田中絹代賞 ▽特別賞

### <表彰式>

2024 年 2 月 14 日、めぐろパーシモンホール（東京都目黒区八雲 1 の 1 の 1）

主催 毎日新聞社、スポーツニッポン新聞社

共催 目黒区芸術文化振興財団

特別後援 カルチュア・エンタテインメント、CCCMMKホールディングス

後援 経済産業省、文化庁、日本映画製作者連盟、映像文化製作者連盟、ユニジャパン、映像産業振興機構（VIPO）、目黒区

協賛 映画演劇文化協会、えがお、集中出版、スマイルコミュニケーションズ、セーフティステップ、東急グループ、東日印刷、ハナマルキ

協力 エース、黒谷美術、芸游会、コレド室町、サッポロビール、下関市（山口県）、シモンズ、Base KOM

<公式 HP> <https://mainichi.jp/mfa/>

【パブリシティ・お問い合わせ】：ブラウニー阿部 TEL:03(3351)1538 MAIL:info@eigapub.com

**2024 年 2 月 14 日(水)、めぐろパーシモンホールにて表彰式開催予定**